

 green carbon



カーボンクレジット創出販売までを
一気通貫したサービス「Agreen(アググリーン)」

Green Carbon株式会社

プロフィール



Green Carbon株式会社

-グリーンカーボンカブシキガイシャ-

国内営業事業部 部長

吉見 俊哉(よしみ しゅんや)

東京農業大学卒業。大学での研修などで直接農家さんの作業などに携わることにより、現在日本で抱えている後継者不足や、農家が儲からないなどの課題を解決し、日本の農業を活性化していくために、国内営業の統括に従事。

2023年度は、水稻栽培における、メタンガス削減を国内初プロジェクトとして、約5,000haの実証農家さんの登録を担い、クレジット化に向けて展開。

今後としては、稲作を中心とし、畜産、畑作など日本の農業者へ還元できるように領域拡大を図る。

The background of the slide features silhouettes of several people in a meeting or collaborative work environment. The silhouettes are dark against a light blue gradient background. A thin green vertical line is on the left, and a thin green horizontal line is on the right.

GENEREN

会社概要/事業紹介

Corporate Profile

VISION

 green carbon

生命の力で、地球を救う

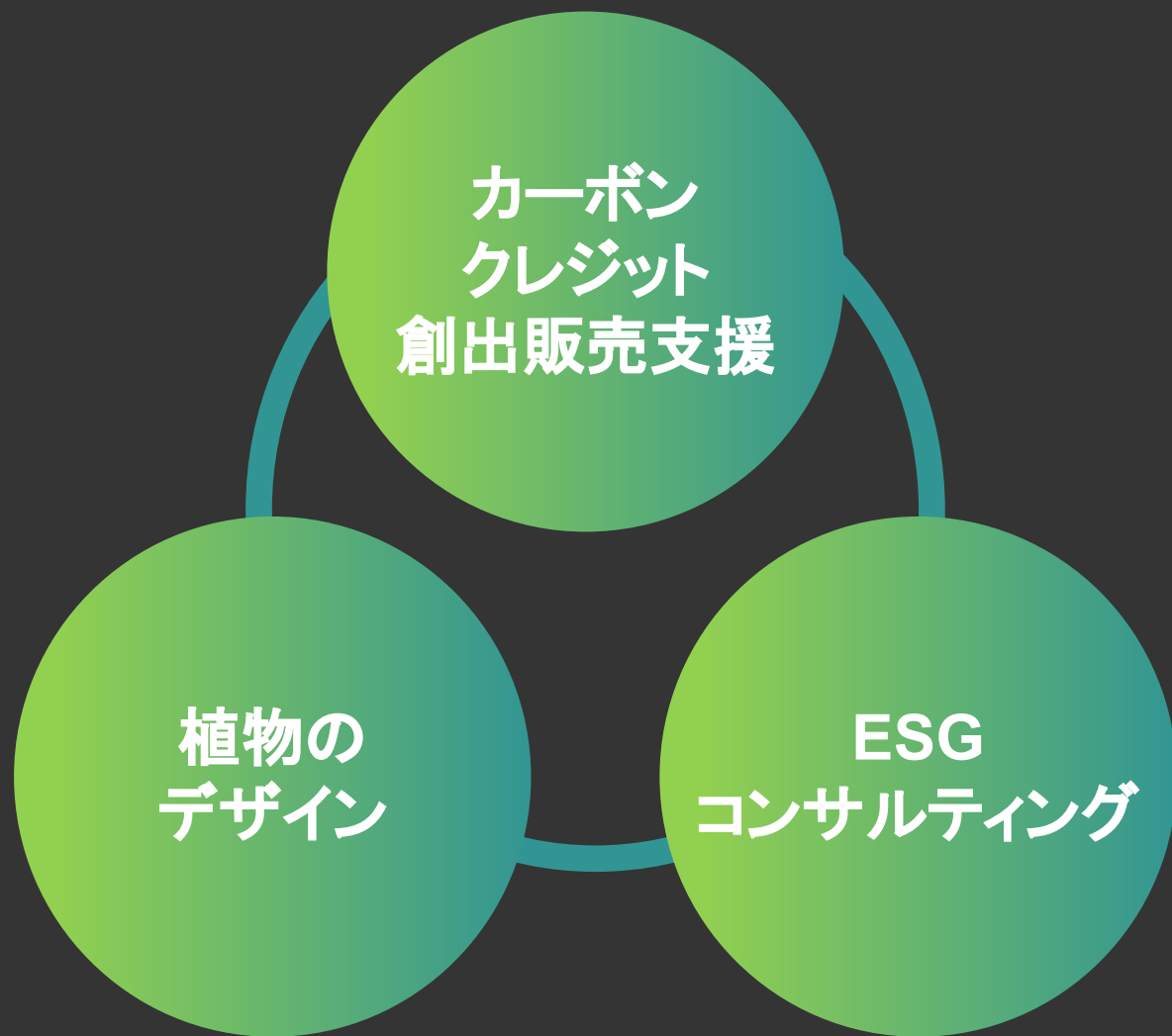
地球規模での温暖化により、台風・大雨・洪水により、日々、人間・動物・植物(動植物)が住みにくい世界が作られています。技術革新により、歯止めをかけようとしても、未だ解決策が見えない大きな問題に僕たちはもともと持っている生命の力を最大限に活用することで、もとあった住みやすい地球に戻していきたいと考えています。人だけが住みやすい世界ではなく、世界中のあらゆる生命が住みやすく共存し合う世界を創造していきたいと思います。

会社概要

- 会社名 : Green Carbon株式会社
- 本社 : 東京都港区南青山3-1-3スプライン青山
東急ビル6Fビジネスエアポート青山
- 代表者 : 代表取締役 大北 潤
- 設立 : 2019年12月
- 資本金 : 8,049万円
- 事業概要 : 主に炭素固定種苗販売事業、CO2削減事業、CO2削減植物研究開発事業、カーボンプレジット取引及び取引所事業、農業関連事業、環境関連事業、その他関連する事業及びコンサルティング



事業紹介:3つの柱



本プロジェクトでは、
カーボンクレジット
の連携をご提案。

自治体との連携・支援

埼玉県深谷市
Deep Valey Agritech Awardにて最優秀賞受賞



DEEP VALLEY

DEEP VALLEY Agritech Award 2023

DEEP VALLEY
Agri & Food

深谷発!!
共に創る
農と食の未来

エントリー募集中!

Agritech Award 2023
深谷市からの出資
賞金総額 **1000** 万円

エントリー締切り 2023年 8月 18日 (金)

栃木県那須塩原市
ナスコンバレーサミットのピッチイベントで優勝



NasuconValley



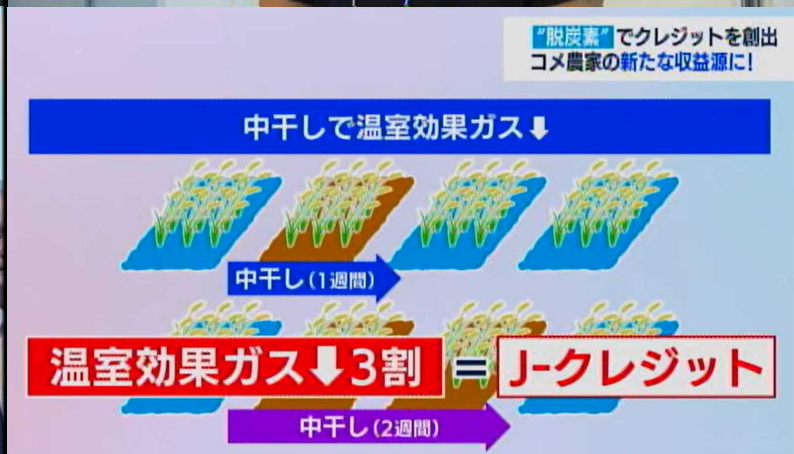
NasuconValley
ナスコンバレー
サミット 2022

イノベーションを社会実装する国内最大規模のリビングラボ
「ナスコンバレー」発足1周年記念イベント!
大企業からアカデミア、スタートアップ、地域企業まで大集結!

2022/10/12 Wed. ~10/13 Thu.

TOWAピュアコテージ (一部会場)
栃木県那須郡那須町高久乙3375

最新TOPIX:WBSへの露出



最新TOPIX:カンブリア宮殿への露出



最新TOPIX:SDGs Week

TBSテレビのSDGs Weekにも協賛企業として出展。

※BS-TBSのFuture Earth/トレンドクリップなどにも露出予定

次回

三度おいしいSDGs ニッポンの水田が世界を救う？

BS-TBS 2023年11月6日（月）放送

近年、世界で急拡大する“カーボンクレジット”市場。どこか遠い話…と思いきや、いま日本人にとってはお馴染みの「田んぼ」が注目されています。ある方法によって温室効果ガスを削減できるとして、今年クレジットの売買が承認されたのです。農家にとっては副収入になる上、地球に優しく、食べても美味しい！まさにおいしい尽くしの取り組みを追いましました。



地球を
笑顔にする
WEEK

TBS系 SDGsプロジェクト

私たちはSDGsに取り組んでいます

BS-TBS

TBS

TBS RADIO



最新TOPIX

日本初：第1号案件プロジェクトとして認証を取得

農業従事者のカーボンニュートラル（CN）挑戦を支援する Green Carbon 株式会社
水田のメタンガス削減によるJ-クレジット創出の方法論において

日本初第1号案件プロジェクトとして認証を取得

- 「稲作コンソーシアム」を通して農業田米の温室効果ガス削減を牽引 -

Green Carbon 株式会社（代表取締役：大北潤、以下 Green Carbon（読み：グリーンカーボン））はこの度、第55回「J-クレジット」*1 制度認証委員会において、「水稲栽培における中干し期間の延長」の方法論に取り組む日本初の第1号案件*2として、稲作コンソーシアムによる水田でのメタンガス削減プロジェクトが登録されたことをお知らせします。

今回承認されたプロジェクト（※2）

【水稲栽培における中干し期間の延長】

(ア)プロジェクト名：水稲栽培における中干し期間の延長によるCH4削減プロジェクト
プロジェクト登録者：クボタ大地のいぶき
対象地域：全国

(イ)プロジェクト名：水田の中干し期間の延長によるメタンガスの削減プロジェクト
プロジェクト登録者：Green Carbon株式会社
対象地域：全国

(ウ)プロジェクト名：水稲栽培における中干し期間の延長によるCH4削減事業
プロジェクト登録者：三菱商事株式会社
対象地域：全国



J-クレジット制度 J-CREDIT SCHEME プロジェクト登録証

プロジェクト番号： JCS-PJP00190

プロジェクトの名称

水田の中干し期間の延長によるメタンガスの削減プロジェクト

プロジェクト実施者名

Green Carbon 株式会社

代表者氏名

大北 潤 様

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、J-クレジット制度実施要綱に基づき、J-クレジット制度に登録いたします。

登録申請日：2023年05月26日

J-クレジット制度 制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

提案概要

中四国地方の農家の
収益源創出・脱炭素化に向けた
カーボン・クレジット創出販売
プラットフォーム

1

方法論やクレジットの計算方法が複雑

方法論 AG-005(ver.1.0) 水稲栽培における中干し期間の延長

EM_{PJ}	プロジェクト実施後排出量	tCO2e/年
-----------	--------------	---------

<排出削減量の算定で考慮すべき温室効果ガス排出活動>

項	排出活動	温室効果ガス	説明
ベースライン排出量	水稲栽培	CH4	水稲栽培によるメタン排出量
プロジェクト実施後排出量	水稲栽培(中干し期間の延長)	CH4	水稲栽培(中干し期間の延長)によるメタン排出量

3. プロジェクト実施後排出量の算定

$$EM_{PJ} = \sum(A_{PJ} \times EF_{i,j,k,l,m1}) \times \frac{16}{12} \times GWP_{CH4} \times 10^{-3} \quad (\text{式2})$$

記号	定義	単位
EM_{PJ}	プロジェクト実施後排出量	tCO2e/年
A_{PJ}	プロジェクト実施後の水稲作付面積	ha
$EF_{i,j,k,l,m1}$	プロジェクト実施後のCH4排出係数	kgCH4-C/ha/年
16/12	CH4に含まれる炭素重量(kgCH4-C)をCH4重量(kgCH4)に変換するための係数	kgCH4/kgCH4-C
GWP_{CH4}	CH4の地球温暖化係数	tCO2e/tCH4
10^{-3}	単位換算	tCH4kgCH4

2

申請書や手続き書類が複雑で分かりにくい

4 排出削減計画			
4.1 プログラム型プロジェクトの全体計画(活動数)			
認証対象期間 ※1	~	00年	
年度	新規会員数	累計会員数	
2013年度	件(累計)	0	件
2014年度	件(累計)	0	件
2015年度	件(累計)	0	件
2016年度	件(累計)	0	件
2017年度	件(累計)	0	件
2018年度	件(累計)	0	件
2019年度	件(累計)	0	件
2020年度	件(累計)	0	件
2021年度	件(累計)	0	件
2022年度	件(累計)	0	件
2023年度	件(累計)	0	件
2024年度	件(累計)	0	件
2025年度	件(累計)	0	件
2026年度	件(累計)	0	件
2027年度	件(累計)	0	件
2028年度	件(累計)	0	件
2029年度	件(累計)	0	件
2030年度	件(累計)	0	件
2031年度	件(累計)	0	件
2032年度	件(累計)	0	件
2033年度	件(累計)	0	件
2034年度	件(累計)	0	件
2035年度	件(累計)	0	件
2036年度	件(累計)	0	件
2037年度	件(累計)	0	件
2038年度	件(累計)	0	件
2039年度	件(累計)	0	件
2040年度	件(累計)	0	件
2041年度	件(累計)	0	件
2042年度	件(累計)	0	件
2043年度	件(累計)	0	件
2044年度	件(累計)	0	件
2045年度	件(累計)	0	件
2046年度	件(累計)	0	件
2047年度	件(累計)	0	件
2048年度	件(累計)	0	件
2049年度	件(累計)	0	件
2050年度	件(累計)	0	件

削減活動数

※1 認証対象期間の開始日は当該日付が最も早い会員の日付を、認証対象期間の終了日には当該日付が最も遅い会員の日付をそれぞれ記載し、その期間をプロジェクト全体の認証対象期間とする。その結果として、プロジェクト全体の認証対象期間が6年間を超えても構わない。なお、各会員の認証対象期間は、プロジェクト全体の開始日当日起し又はモニタリングが可能となる予定日のいずれか遅い日から、同日より6年を経過する日までの間で設定すること。

3

申請に向けて散在しているデータ収集が大変



群番号	郡番号	市町村名	地区名	水稲作付面積(ha)	グループ
1	水稲	稲作市	水稲作付17-39	1.7	1
2	水稲	稲作市	水稲作付17-40	3.9	1
3	水稲	稲作市	水稲作付17-41	0.5	1
4	水稲	稲作市	水稲作付17-42	1.1	1
5	水稲	稲作市	水稲作付17-43	1.4	1
6	水稲	稲作市	水稲作付17-44	0.3	2
7	水稲	稲作市	水稲作付17-45	0.2	2
8	水稲	稲作市	水稲作付17-46	0.0	2
9	水稲	稲作市	水稲作付17-47	1.0	2
10	水稲	稲作市	水稲作付17-48	2.1	2
11	水稲	稲作市	水稲作付17-49	2.2	3
12	水稲	稲作市	水稲作付17-50	2.4	3
13	水稲	稲作市	水稲作付17-51	1.2	3
14	水稲	稲作市	水稲作付17-52	0.9	3
15	水稲	稲作市	水稲作付17-53	0.4	1
16	水稲	稲作市	水稲作付17-54	0.2	1
17	水稲	稲作市	水稲作付17-55	1.2	1

4

データ管理が煩雑

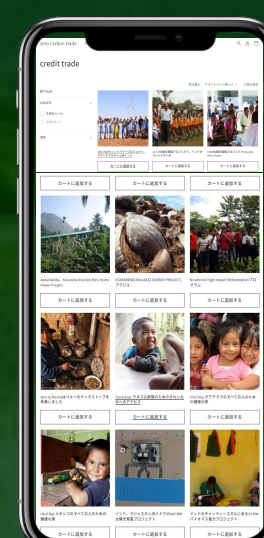
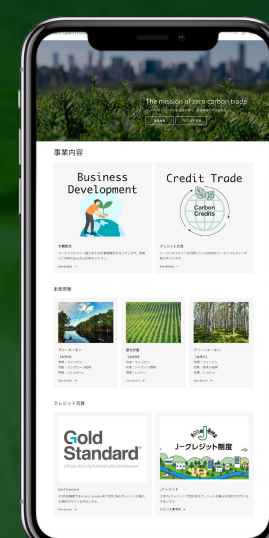


①方法論 手法の確定

② クレジット申請

③ クレジット登録

④ クレジット販売



シミュレーションで簡単に試算

書類アップロードを簡易化

クレジット販売を簡略化



GENEREN

プロジェクト概要

**「Agreen(アググリーン)」を活用し中四国地方の農家様
農業由来のカーボンプレジットの創出を実施**



**中四国地方内の企業様へクレジットを販売し
中四国地方内でオフセットを実施**

「Agreen(アグリーン)」概要

Agreenではまず水田(稲作)プロジェクトから



プロジェクト実施例(稲作コンソーシアム)

(11月時点)、約8,000haの水田農家さんが参画し
120社以上の企業/農業法人が参画。

参画企業/自治体
農業

※中四国地方内では、鳥取、島根、山口の農家様が参画。

J-クレジット創出に向けた稲作コンソーシアムの発足

カーボンプレジットを創出に向けたポイント

下記3つのテーマでカーボンプレジットを創出

水田

バイオ炭

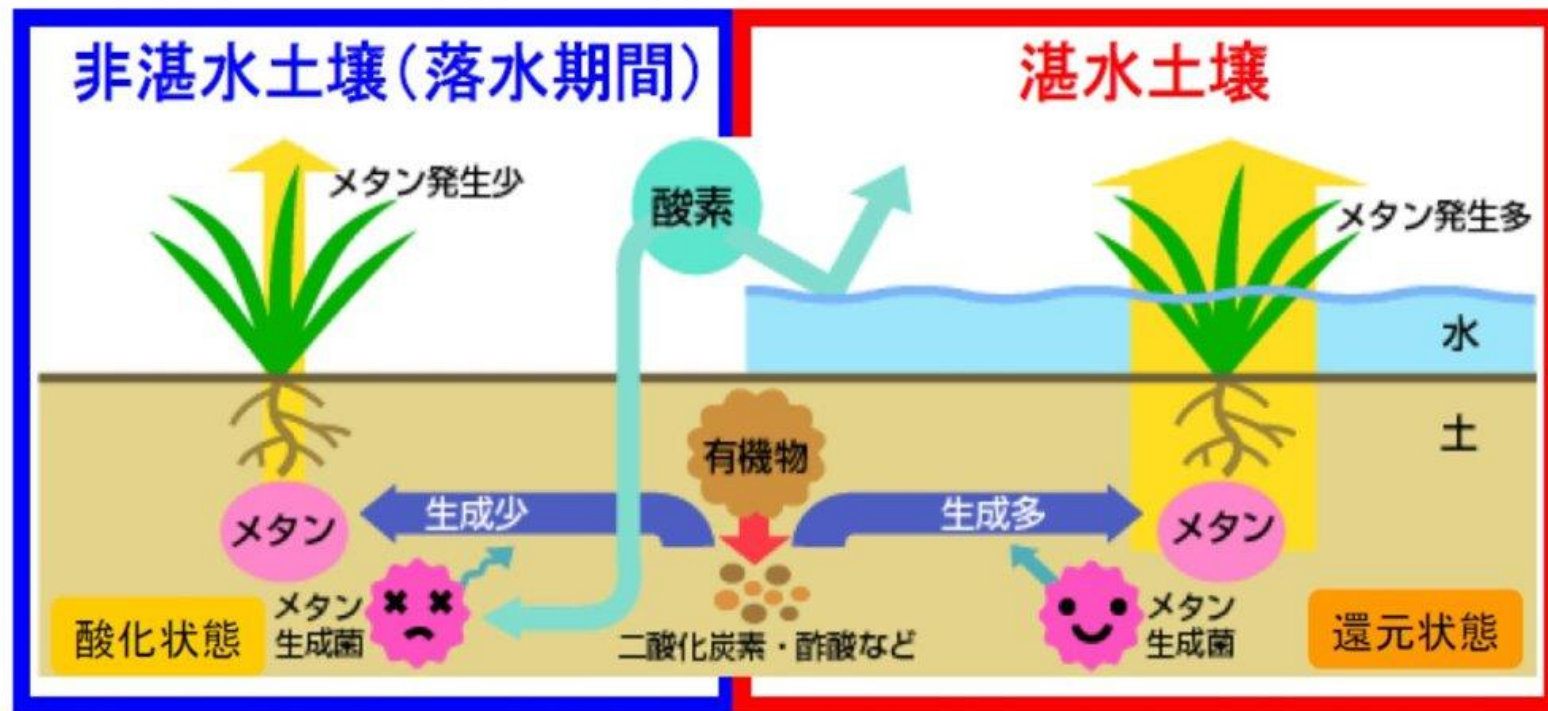
牛の
ゲップ

※メイン

水田を活用したカーボンクレジット創出

水田の中干し期間延長によるクレジット創出 (J-クレジット)

水田



(図の出典：つくばリサーチギャラリー)

中四国エリアの水田ポテンシャル

削減量

139,800t-CO₂~
276,200t-CO₂

- ・1haあたり1t-CO₂~4.1t-CO₂削減
 - ・中四国エリア水田面積: 139,800ha
 - ・CO₂削減量: 139,800t-CO₂~276,200t-CO₂
 - ・市場価値: 約7億~約13.8億円
- ※5000円/t-CO₂で試算

バイオ炭を活用したカーボンクレジット創出

北海道では既に、融雪剤として籾殻からできたバイオ炭を活用（J-クレジット）

バイオ
炭



牛のゲップを活用したカーボンクレジット創出

牛のゲップを削減することでメタンガス削減に繋がる(2月から実証実験予定)

牛の
ゲップ



「Agreen(アグリーン)」による効果

- クレジット売買による副収入を獲得と収入増加

水田/畑作/酪農農家で創出したカーボンクレジットの生成と収入の分配

- 周辺地域の脱炭素化

GHG排出量削減による、地域の脱炭素化に寄与。

- 中四国全域の地方創生

農家の収入源増による、農家のなり手の増加、地方創生への寄与

- 環境配慮(CN)米・牛としてブランディングが可能に

環境に配慮したお米・牛肉であることを証明するロゴを作成し、ブランド米として販売可能に。

中干しを延長する農家さんのインタビュー記事

【核融合、実用化に向け競争激化 Energy Frontline】

DX・AI時代の『人材育成』と『組織づくり』とは/産経DXセミナー

温室効果ガス排出削減 稲作の「中干し」に注目



ウィン・ウィンの関係

こうした中、中干しに目を付けたのが、環境関連のコンサルティングなどを手掛ける「Green Carbon (グリーン カーボン)」(東京都港区)。4月に賛同企業などとともに「稲作コンソーシアム」を発足させた。

すでに参入を決めた宮城白鳥農場(宮城県栗原市)は約120ヘクタールの農地で、米や大豆を生産。このうち約80ヘクタールの水田で行う稲作からのクレジット分として、年間100万円程度の収入増になる試算だという。

代表の白鳥一徳さん(43)は「中干し期間の延長は、大きなリスクにならない。それで収入が得られるならば、『ボーナス』のようなもの」と参入の理由を明かす。

クレジットの売却先としては、コンサルティング業務でつながりがある小売り業や地方自治体などから前向きな反応があるという。将来的に、電力や鉄鋼、ガスなど温室効果ガス排出量の多い業界からの需要に対応できるよう、農家の参入増を目指す。

協力いただきたい事項

①: 農家さんの紹介(水田農家・畑作農家)

⇒可能であれば大規模農家50ha以上。

②: 農家さんへの勉強会/説明会の実施・セッティング

⇒ご説明or当社からの説明、どちらでも可能。

③: 稲作コンソーシアムへの参画

GREEN

補足

Appendix

■ 事例:カーボンニュートラルPC (VAIO株式会社)

長野県安曇野市と連携し、**水田のメタンガス削減によるカーボンクレジットを創出。**
PC製造時の排出量を算出し、オフセットすることで**カーボンニュートラルPC**を創出。

日本経済新聞

VAIOが水田クレジット参入 「安曇野」 発で環境対策

エレクトロニクス + フォローする

2023年9月7日 5:00 [会員限定記事]

保存

共有 印刷 メール n X F 共有



安曇野市内にある本社前に置かれた「VAIOの里」の石碑

パソコン (PC) メーカーのVAIO (長野県安曇野市) は本社のある地元自治体などと連携し、水田栽培で温暖化ガスの排出枠をつくる「水田クレジット」に参入する。環境負荷の軽減と、製造業の重要なステークホルダー (利害関係者) である工場近隣住民との関係強化を同時に追求する珍しい試みで、ブランド力の向上にもつながりそうだ。

VAIOが「水田クレジット」 近隣農家と温暖化対策 長野・安曇野市で メタン抑え排出枠

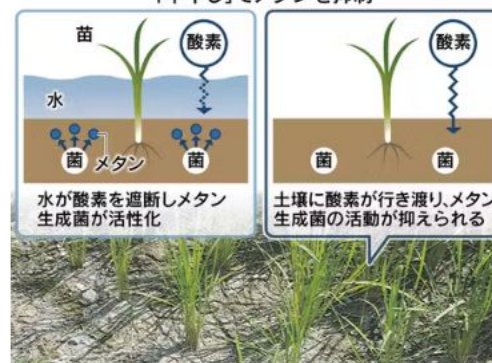
2023年9月8日 2:00 [会員限定記事]

保存

共有 印刷 メール n X F 共有

パソコン (PC) メーカーのVAIO (長野県安曇野市) は本社のある地元自治体などと連携し、水田栽培で温暖化ガスの排出枠をつくる「水田クレジット」に参入する。環境負荷の軽減と、製造業の重要なステークホルダー (利害関係者) である工場近隣住民との関係強化を同時に追求する珍しい試みで、ブランド力の向上にもつながりそうだ。

「中干し」でメタンを抑制



VAIO



カーボンニュートラル
PC



■ 環境配慮米の活用

環境配慮米とは、水田の中干しを延長することで、通常の方法よりもメタンガス排出が削減されたお米。

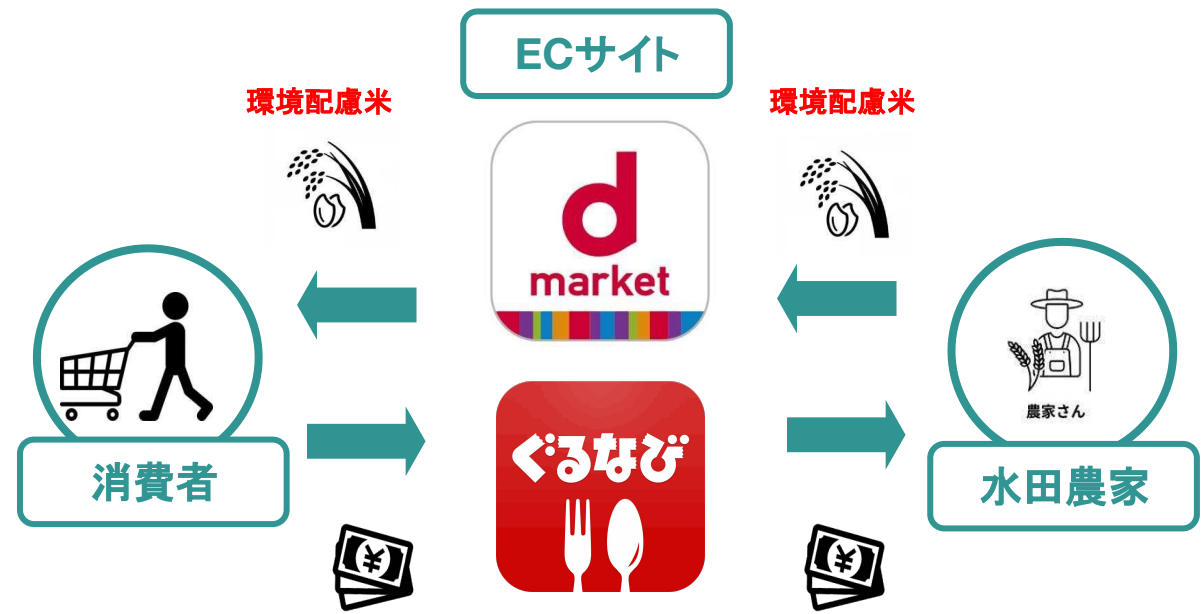
ECサイトや小売事業会社と連携して販売。

環境配慮米



埼玉県深谷市産
(参考イメージです)

環境配慮米の販売



■ 市場調査:環境配慮米 vs 通常米 食べ比べイベント結果

環境配慮米 or 通常米の食べ比べイベントを実施。

結果は、「**どちらも美味しい**」「**味に違いがない**」という評価。

※1割程度であれば高くても購入するという意見も多数



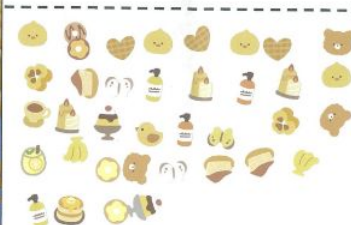
あなたはどちらのお米が美味しいと思えましたか？

通常米



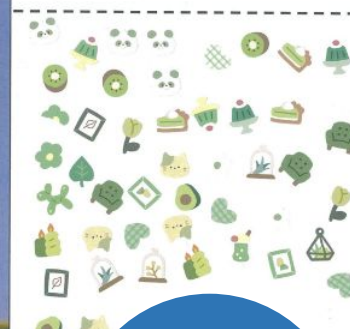
38%

どちらも美味しかった



23%

環境配慮米



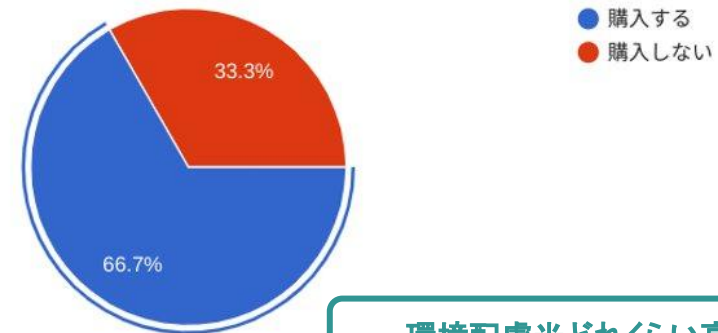
39%

■ 市場調査: 町中華フェス 環境配慮米消費者アンケート

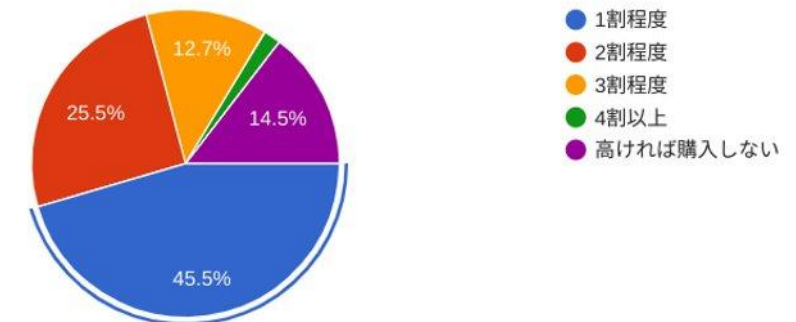
11月に開催された町中華フェスにて、協賛企業として**環境配慮米のサンプリングを実施**。
イベントに来た100名の消費者にアンケートを実施。



環境配慮米を今後購入するか？



環境配慮米どれくらい高くても購入する？



30haを保有する水田農家さんの収益向上ポテンシャル

